

年 月 日

特定非営利活動法人みやざき有機農業協会

理 事 長 様

申請者 住所

氏名

有機農産物生産行程管理者認証申請書

このことについて、日本農林規格等に関する法律（昭和 25 年法律第 175 条）第 14 条第 2 項の規定により関係書類を添えて申請します。

〔関係書類〕

番号	書 類 名	書類 記号	確認欄
1	認証申請書（有機農産物の生産行程管理者）	A	☐
2	生産行程管理者・格付担当者名簿及び履歴書	B, C	☐
3	生産者名簿	D	☐
4	経営概要（法人・グループの場合）	E	☐
5	外注先リスト（チェック有れば別冊あり）	F	☐
6	申請ほ場一覧表・申請ほ場以外の経営耕地一覧	G-1	☐
7	申請ほ場及び施設全配置図（周辺状況）	G-2	☐
8	申請ほ場毎図	G-3	☐
9	申請ほ場水系図（周辺状況）	G-4	☐
10	開拓地・遊休地等の使用禁止資材未使用証明書	H	☐
11	生産計画書	I	☐
12	小分け計画書（他者が生産した農産物を受入れ小分けする場合）	J	☐
13	生産・保管・小分けに係る施設等一覧表及び施設毎図面	K-1, 2	☐
14	生産・保管に係る施設毎図面（育苗場）	L	☐
15	使用機械・器具リスト	M	☐
16	投入資材リスト	N-1, 2	☐
17	品目・種苗リスト	O-1	☐
18	育苗培土について	O-2	☐
19	有機 J A S 適合証明書、製造工程図	O-3, 4	☐
20	種菌・原木・菌床の入手等	O-5	☐
21	生産行程管理記録（ほ場毎）	P-1	☐
22	収穫・受入れ以後の工程	P-2	☐
23	小分けを行う品目毎の規格書（有機農産物）	Q	☐
24	内部規程（その 1）（その 2）（その 3）（その 4）	R	☐
25	格付規程（その 1）（その 2）	S	☐
26	認証申請受理確認シチェックシート	T	☐

年 月 日

特定非営利活動法人みやざき有機農業協会 理事長殿

A

認証申請書（有機農産物の生産行程管理者）

標記の件につき、貴協会の規程に基づき下記の項目を含む所定の書類を添えて申請します。

生産行程管理者 の名称又は氏名	
代 表 者 名	
住 所	〒
電 話 番 号	
携 帯 電 話 番 号	
ファックス番号	
メールアドレス	
組 織 形 態 (○をつける)	☐ 個人（単独） ☐ 申請者を構成員とする法人又はグループ
生産者の人数	
個人・法人の別 (○をつける)	☐ 個人 ☐ 法人
格付を行おうとする 農林物資の種類	☐ 有機農産物： ☐ 栽培農産物 ☐ 採取物
申請ほ場の枚数及 び面積	枚 a （詳細については別紙）

担当者名簿

生産行程管理責任者及び生産行程管理担当者

生産行程管理責任者			
住 所			
連 絡 先			
講 習 会 受 講 歴	修了証書年月日 年 月 日	履歴書添付	☐ 確認
生産行程管理担当者名	講習会受講日	履歴書 確 認	担当する生産者等 (グループ等の場合)
		☐	
		☐	
		☐	
		☐	
		☐	

格付責任者及び格付担当者

格 付 責 任 者			
住 所			
連 絡 先			
講 習 会 受 講 歴	修了証書年月日 年 月 日	履歴書添付	☐ 確認
格付担当者名	講習会受講日	履歴書 確 認	担当する生産者等 (グループ等の場合)
		☐	
		☐	
		☐	
		☐	
		☐	

※上記担当者は農業生産に係る学歴・経歴を記した履歴書を必ず添付すること。

※生産業者を構成員とするグループ又は法人及び販売業者の場合は、生産者名簿及び組織図を添付すること。

履歴書

年 月 日現在

ふりがな		
氏 名		
認証事業者名		
年	月	学歴・職歴（注）

（注）学歴は、最終学歴を、履歴は農業又は農業生産に関する指導・調査若しくは試験研究に従事した経験が分かるように記入してください。

生産行程管理担当者又は格付担当者の資格要件

- ① 学校教育法による大学で農業生産に関する授業科目の単位を取得して卒業した者又は同等以上の資格を有する者であって、農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に1年以上従事した経験を有する者。
- ② 学校教育法による高等学校又は中等教育学校を卒業した者、又は同等以上の資格を有する者であって、農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に2年以上従事した経験を有する者。
- ③ 農業生産又は農業生産に関する指導、調査若しくは試験研究に3年以上従事した経験を有する者。

生産者名簿

氏 名	住所・連絡先	申請 ほ場	生産行程管理担当者
生 年 月 日			格 付 担 当 者
		枚	
年 月 日	TEL :	a	
		枚	
年 月 日	TEL :	a	
		枚	
年 月 日	TEL :	a	
		枚	
年 月 日	TEL :	a	
		枚	
年 月 日	TEL :	a	
		枚	
年 月 日	TEL :	a	
		枚	
年 月 日	TEL :	a	
		枚	
年 月 日	TEL :	a	
		枚	
年 月 日	TEL :	a	

経 営 概 要 (法人・グループの場合)

法人又はグループの 設立年月日	年 月 日			
申請ほ場 <u>以外</u> の 耕作ほ場	ほ場枚数	枚	ほ場面積	a
申請ほ場 <u>以外</u> で 栽培する作物	作 物 名 ※	栽培面積	年間生産量	備考
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		
		a		

※ 作物名は、水稻・茶・人参・馬鈴薯、きのこ、スプラウト等

注：ほ場は、きのこにあっては栽培場、採取作物にあっては採取場と読み替えて、記入ください。

組織図

(法人又はグループの場合のみ。(所属・役割・関係性等が分かるように))

外注先のリスト

※生産行程の一部を外注している場合のみ提出が必要です。

外注先氏名又は名称	外注先住所・連絡先	外注に使用する施設等の名称
	TEL : FAX :	
	TEL : FAX :	
	TEL : FAX :	
	TEL : FAX :	
	TEL : FAX :	
	TEL : FAX :	
	TEL : FAX :	
	TEL : FAX :	
	TEL : FAX :	

申請ほ場一覧

ほ場 番号	面積 (a)	所在地 (住所又は地番)	ほ場種類	使用禁止資材等の 最終使用年月日又は 開墾年月日	特記事項 (転換期間中・ 開墾地等)
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
総枚数	うち有機ほ場	うち転換期間中	総面積	うち有機ほ場	うち転換期 間中
枚	枚	枚	a	a	a

★ほ場を集積する場合は、枝番号などを使用して、どのほ場が何番ほ場なのか、分かりやすく記載してください。ほ場の所在地は番地まで記載してください。またハウスなどの場合は、ハウス内だけでなく草刈り等管理している耕地全体の面積を記入してください。

注：ほ場は、きのこにあっては栽培場、採取作物にあっては採取場と読み替えて、記入ください。

年 月 日

申請ほ場以外の経営耕地一覧

ほ場 番号	面積 (a)	作物名	ほ場種類	年間生産量	備考
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
			田・畑・樹園地・ 栽培場・採取場		
総枚数		総面積			
枚		a			

申請ほ場及び施設全配置図（周辺状況）

ほ場番号	～	施設番号	～
周辺状況特記事項			

※目印となる建物や自宅、堆肥場、各施設などすべて記入し、位置関係や周囲状況が明確に分かるように記載すること。ほ場と施設の表示を区別すること。

※市販の地図を利用したの貼付、添付も可。

注：ほ場は、きのこにあっては栽培場、採取作物にあっては採取場と読み替えて、記入ください。

申請ほ場毎図

ほ場番号		ほ場面積	a	☐ 有機 ・ ☐ 転換中
隣接地の状況を記入ください。 ●隣が慣行ほ場の場合、汚染防止策として1 m以上緩衝距離があること。 ●航空防除を実施しているほ場とは、有人ヘリの場合 100m以上、無人ヘリの場合 6 m以上緩衝距離があること。 ※ただし、周囲の環境、条件等により適宜増減する。				近隣の汚染源の有無や その他の特記事項記入欄
隣接地との側面の記号	慣行・有機及び現況	緩衝距離	緩衝物（現況）	●近隣での航空防除 （ 有 ・ 無 ） ●有の場合 （有人ヘリ・無人ヘリ） ※有の場合は、航空防除 ドリフト防止の証明書を添付すること。 ※航空防除実施の飛行区域や飛行区域からの緩衝距離等の詳細を以下の図面内に記載すること。
A		m		
B		m		
C		m		
D		m		
		m		

※ほ場図には大きさ（ 縦 m × 横 m ）を必ずご記入ください。

注：ほ場は、きのこにあっては栽培場、採取作物にあっては採取場と読み替えて、記入ください。

申請ほ場水系図（周辺状況）

※用水路、パイプライン等がある場合のみ提出が必要です。

※水田などの関係するほ場の位置、有機・転換期間中・慣行などほ場の状況を記載してください。

水流方向、取水口、排水口など、水の動きなどの関係も明記してください。

※市販の地図を利用した貼付、添付も可

注：ほ場は、きのこにあっては栽培場、採取作物にあっては採取場と読み替えて、記入ください。

開拓地・遊休地等の使用禁止資材未使用の証明書

下記のは場は、開拓され又は耕作の目的に供されておらず、周辺から「有機農産物の日本農林規格」に定められた使用禁止資材を下記期間中使用していないことを証明します。

年 月 日

氏名又は名称 _____

住 所 _____

電 話 番 号 _____

記

1 所在地及び面積

2 使用禁止資材未使用の期間

年 月 日 から 年 月 日まで

以上

I

生産計画書

年 月 日

(年 月 ～ 年 月)

ほ場 番号	作 物 名	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	摘 要

(凡例) ○・・・播種 ●・・・基肥 △・・・定植 ▲・・・追肥 ★・・・防除 □・・・収穫 ■・・・保管 ☆・・・()

注：きのこ、採取作物については、凡例の項目を適時変更して記入ください。

※他者が生産した農産物の受入れをして小分けがある場合記入

小分け計画書（ 年度 ）

★小分け計画

品目または製品	仕入れ先	小分け数量（kg）	出荷先

★作業計画

作業内容	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	備考
小分け作業													

生産・保管・小分けに係る施設等一覧表

※生産から出荷までの行程に使用する全ての施設を記入してください。

※用途例：堆肥作り、育苗、機械倉庫、保管（冷蔵・貯蔵等）、調整（袋詰め、洗い、カット等）、格付、籾摺精米、荒茶製造など

施設 番号	施設名称	施設住所	規模	用途	使用 区分	所有 区分	清掃方法
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	
			m ²		☐ 有機専用 ☐ 慣行併用	☐ 自己 ☐ 共用 ☐ 外注	

生産・保管・小分けに係る施設毎図面（育苗施設以外）

施設名称	☐ 有機専用 ・ ☐ 慣行併用	施設番号
------	---	------

- ※ 1 施設内の設備や機械などの位置、内部状況が分かるように記入すること。
2 慣行併用の場合は、区分状況が分かるように記入すること。
3 建物等の大きさ（縦×横サイズ等）がわかるように記入すること。

--

生産・保管に係る施設毎図面（育苗場）

※認証ほ場で以外で、育苗を行う場合に記入してください。

育苗施設住所		面積	a
--------	--	----	---

※水路、道路などほ場の隣接部分の状況を詳しく明記してください。

緩衝地帯の幅もわかるようにしてください。

隣接地 の記号	慣行・有機の状況	緩衝物又は緩衝距離の状況
A		
B		
C		
D		
E		
隣接地の状況を記入ください。 ・隣が慣行ほ場の場合、汚染防止策として1 m以上緩衝距離があること。 ・航空防除を実施しているほ場とは、有人へりの場合 100m以上、無人へりの場合 6 m以上緩衝距離があること。 ※ただし、周囲の環境、条件等により適宜増減する。		

（縦×横サイズ等）がわかるように記入すること。

使用機械・器具リスト

※□にはレ点を付してください。

機械器具名	メーカー	区分 1	区分 2	使用時の洗浄・清掃方法	備考
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		
		☐ 個人 ☐ 共同 ☐ 借用	☐ 有機専用 ☐ 慣行併用		

投入資材リスト

1 肥料及び土壌改良剤（附属書A）

資材の名称	入手先	使用目的	証明書 の有無	資材証明書の 証明年月日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ・ ☐ 無	年 月 日

2 農薬(附属書B)

農薬の名称	農薬の種類	対象作物	使用目的（対象病害虫）

3 薬剤（附属書C）

資材名	製造者	使用目的

4 その他の薬剤（附属書B Cに含まれない薬剤、潤滑油や洗浄剤、殺菌剤等）

資材の名称	入手先	使用目的

5 調整用資材（附属書D）

資材の名称	入手先	使用目的	証明書 の有無	資材証明書の 証明年月日
			☐ 有 ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ☐ 無	年 月 日
			☐ 有 ☐ 無	年 月 日

6 施設資材・被覆資材等（マルチ・シーダーテープ等）

資材名	使用状況	使用後の処理法	備考

品目・種苗リスト

※□にはレ点を付してください。

作物名	種 又は 苗	入手先	遺伝子 組替の 有 無	有機 又は 非有機	持続的効 果がある 資材使用	非有機の場合の理由	緑肥の 場合
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用
	☐ 種 ☐ 苗	☐ 自家採種 ☐ 購入 ☐ 委託生産	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機 ☐ 非有機	☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明	☐ 有機種苗が入手困難 ☐ 育苗に失敗したため ☐ 品種の維持更新のため ☐ その他 ()	☐ 緑肥用

※自家育苗の場合は、育苗記録（培土を含む）についての記録を添付。

※有機種苗の場合は、証明書を保管のこと。実地調査時に確認します。

育苗培土について

※育苗施設が、認証ほ場としてある場合は、の場合は、記入不要。

育苗培土で利用できるものは、J A S 規格で以下のように示されている。

(5.12 「育苗管理」)

1. ほ場の項又は採取場の項に適合したほ場又は採取場の土壌
2. 過去2年以上の間、周辺から使用禁止資材が飛来又は流入せず、かつ、使用されていない
3. 別表1の肥料及び土壌改良資材

苗 土 の 名 称 :

(認証ほ場よりもちこむ場合は、ほ場番号で可)

苗土の採取地住所 :

(苗土の名称に、ほ場番号記載の場合は、記入不要)

育苗培土として使用できるとした理由

--

資材投入の場合、別表1の条件を満たす資材であること。。

有機 J A S 適合証明書

ふりがな
資材名

製造者名

販売者名

肥料番号 号 又は ☐ 肥料登録無し

登録有効期限 年 月 日

当社の本製品は、別紙のとおり製造されたものであり、有機農産物の日本農林規格附属書 A の基準を満たす資材であることを証明します。

- 1、すべての原材料（造粒剤・乳化剤・酸化防止剤・加工助剤等補助的に添加するものを含む）が、別表 1 の肥料及び土壌改良資材に該当するものであり、かつ、それぞれの基準を満たしています。（ただし育苗に用いる用土の原土の場合は、過去 2 年以上の間、周辺から使用禁止資材が飛来又は流入せず、かつ、使用されていない一定の区域で採取され、採取後においても使用禁止資材が使用されていない土壌のみを用いています）
- 2、1 の基準を満たす原材料を用いて本製品を製造する工程において、化学的に合成された物質を添加していないと共に、化学的な工程を経ています。
- 3、本製品では下記条件に該当する微生物資材及び酵素は使っていません。
 - 1) 組換え DNA 技術を用いて製造した微生物及び酵素。
 - 2) 微生物の培養が終わった後に附属書 A に適合しない資材を添加した微生物資材。

添付書類：☐ 別紙製造工程図 ☐ 別紙原材料リスト

この証明書及び添付資料の内容については、当社が責任を負うものとします。

証明日 年 月 日

有効期限 年 月 日

証明者

住 所

電話番号 FAX

会 社 名

担当者名

印

E メール

※社印または責任者印（担当者）印を必ず押してください。

※ 資材証明をする企業の様式でも可

原材料から、製品になるまでの製造工程をお書きください。その際、溶剤(ヘキサンを含む)・造粒剤・乳化剤・酸化防止剤・凝集剤・防腐剤・加工助剤等、製造工程上用いるものはすべて記載してください。工程名だけでわかりにくい場合は、具体的に何をしている工程なのかがわかるように書いてください。既存の工程図がある場合は添付してください。その場合も、溶剤等用いたものが別途ある場合は書き加えてください。

製造工程（フローチャート）		
原 材 料 名	別表 1 の該当項目	農林規格適合の確認・補足説明

1. 原料を用いて本製品を製造する工程において、化学的に合成された物質を添加せず、化学的工程を経ていません。
2. 当資材証明の有効期限は証明年月日から3年とします。但しその間に原料や製造工程に変更がある場合は、事前に認証機関に変更内容を通知します。

※証明する企業の様式でも可。

種菌・原木・菌床の入手

栽培方法： 原木 ☐ 菌床 ☐ 堆肥 ☐

種菌

品 種 名	種 類	購 入 先	数量	DNA 組換え	添付原材料 証明書
				なし ☐	有 枚
				なし ☐	有 枚
				なし ☐	有 枚
				なし ☐	有 枚

備考

- 種類欄には種駒、成型駒、オガ種菌の区別を記入する。
- 種菌製造に使用した原材料を証明する文書を購入先から入手し、添付すること。
・(原材料～木材、添加栄養源など)

原木の入手方法

樹 種	本 数	産 地

菌床の入手方法

品 種 ・ サ イ ズ	菌 床 数	購 入 先

堆肥の入手方法

材 料	面積・数量	産 地

備考

- 購入原木を用いて栽培する場合は、過去に使用禁止資材を使用していない地域から伐採されたことを 証明する文書を添付すること。
- 購入菌床の場合は、天然物由来の資材を用いて有機の基準を満たした製造法で生産されたことを示す内容の証明書を添付すること。
- 堆肥の場合は、有機的管理の材料であること証明する文書を添付すること。

販 売 先

きのこ名	販売先	規格・形態	販売期間	販売(予定) 数量
			～	
			～	
			～	

生産行程管理記録（ほ場ごと）

認証業者名					ほ場番号 No	面 積 a	
年	月 日	作物名	作業内容 (※1) 該当するものに○	使用種苗名 使用資材名	使用資材量 ・収穫量 (※2)	施設・機械・器具	
						名称	洗浄方法 該当するものに○
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除草、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）
	／		植付、耕耘、マルチ張り、 畝立、除、施肥、収穫、 その他（ ）		Kg・個・枚・（ ）		水洗、掃き掃除 ふき掃除、風洗 他（ ）

◎新規申請又は追加申請の場合で、栽培している作物が多年生作物の場合は約3年分、
多年生作物以外の作物の場合は約2年分の記録を提出すること。

※1：作業内容には、耕耘、施肥、播種から収穫、輸送・選別・調製・洗浄・貯蔵・包装その他の収穫以後
の該当する
工程を記入すること。

※2：収穫量は、他に日々の記録があれば記入しなくてもよい。

注：ほ場は、きのこに当っては栽培場、採取作物に当っては採取場と読み替えて、記入ください。

収穫及び受入以後の工程

※葉物、根菜類、果菜など、工程が同じになるものは、品目のところに作物名を列記し、まとめていただいて結構です。

収穫後及び受入れ以降出荷までの工程（輸送・選別・調整・洗浄・貯蔵・包装・保管・格付その他）について、その工程が行われる場所や施設、使用する資材・機械・器具を明確に記入してください。

品 目					
順番	作業工程	場所・施設	資材・機械・器具	担当者	混合・汚染防止策 使用薬剤など

作業工程の管理については、確認できるよう別途作業の記録をお願いいたします。

小分けを行う品目毎の規格書（有機農産物）

※有機農産物の小分けを行う方は、記入ください。

※包装資材名は「袋（ほうれん草用１２号）」などと具体的に記載してください。

品目名 (野菜等の名称)				
小分けする 農産物の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品 でも荷姿が異なる ものは全て記入し てください。 ※表示サンプルを 添付してくださ い。	包装資材名	内容量	J A S マーク表示	表示
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）

品目名 (野菜等の名称)				
小分けする 農産物の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品 でも荷姿が異なる ものは全て記入し てください。 ※表示サンプルを 添付してくださ い。	包装資材名	内容量	J A S マーク表示	表示
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）

品目名 (野菜等の名称)				
小分けする 農産物の生産者	生産者名（格付の表示を付した者）		認証機関名（略称も可）	
荷姿と表示 ※内容が同じ製品 でも荷姿が異なる ものは全て記入し てください。 ※表示サンプルを 添付してくださ い。	包装資材名	内容量	J A S マーク表示	表示
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）
			シール・印刷 その他（ ）	シール・印刷 その他（ ）

内 部 規 程（その１）

1	生産行程管理者の職務 生産行程の管理又は把握に関する計画の立案及び推進について
2	生産行程管理者の職務 外注に関する行程の管理又は把握に関する計画の立案及び推進（外注先選定基準、外注内容、外注手続き等）について
3	生産行程管理者の職務 生産行程に生じた異常等に関する処置又は指導について
4	種子、苗等の入手に関すること １．種子及び苗の入手は、別紙「種苗リスト」に記入したとおりである。 ２．その他、種子、苗等又は種菌の入手に関して注意している点
5	種子の殺菌（スプラウト類を栽培施設で生産する場合）に関すること

内 部 規 程 (その2)

6	育苗管理について ①育苗場所及び育苗の土については、別紙「育苗培土について」に記入したとおりである ②種子選別、種子消毒について ③育苗の具体的方法について ④育苗に使用する水について ⑤その他育苗に関して注意している事項
7	肥培管理・栽培管理に関すること（入手方法・保管管理方法） ①肥料を使う前に、土づくりとして取り組んでいる内容 ②使用する肥料及び土壌改良資材は、「投入資材リスト」に記入したとおりである。 ③その他
8	有害動植物の防除に関すること ①農薬を使う前に、病気、虫、有害動植物対策として取り組んでいる内容 ②農薬を予防的に使用する場合、使用する可能性のある農薬は「投入資材リスト」の農薬の項のとおりである。 ③その他、病気、虫、雑草対策で注意している点
9	一般管理に関すること ①一般管理資材（土や植物に使用する資材で、種苗、肥料、農薬以外）がある場合、その資材名と使用目的

内 部 規 程 (その3)

10	生産・小分けに使用する機械及び器具に関すること ① 生産・小分けに使用する機械・器具は、別紙「使用機械・器具リスト」に記載したとおりである。 ②機械・器具から禁止物質が入らないように行っている対策
11	収穫、受入れ、輸送、選別、調製、洗浄、貯蔵、包装その他の収穫及び受入れ以後の工程に係る管理に関すること ①非有機の収穫物と混合しない対策 ②施設の防虫・防鼠対策で行っていること、及びその使用資材 ③品質保持のために行っていること、及び品質保持のための使用資材 ④放射線照射の有無 (☐ あり ・ ☐ なし) ⑤作業場で使用する薬剤の有無 (☐ あり ・ ☐ なし) (ある場合は、収穫物をそれらの薬剤から汚染させない具体的対策)
12	苦情処理に関すること ①苦情処理責任者名： ②苦情処理マニュアルがある場合は、その名称 ③上記の②がない場合は、苦情処理の具体的手順
13	年間生産計画の策定及び認証機関への通知に関すること ①年間計画の作成時期 ②年間計画の認証機関への通知時期

内 部 規 程（その４）

14	生産行程の管理又は把握の実施状況について認証機関による確認等の業務の適切な実施についての必要事項（現地確認調査・臨時確認調査、連絡等の対応）（□にレ点を記入） ① 認証機関に対しての対応（□にレ点で記入） ☐ 認証機関からの調査に協力し、正しい情報を伝える。 ☐ 変更がある場合は、事前に認証機関に通知する。 ☐ 認証機関から修正の指摘を受けたら対応する。（広告・宣伝を含む） ☐ その他認証機関から業務規定で求められたことには従う ②上記以外に認証機関に対する対応についての特記事項
15	生産行程の管理又は把握に係る記録の作成並びに当該記録及び当該記録の根拠となる書類の保存期間に関すること
16	内部規程の見直しと周知に関すること
17	その他

この様式を内部規程とする場合は、下記の管理をしてください。

附則１） この規程は、 年 月 日から施行する。

附則２） 年 月 日一部改訂。

格 付 規 程（その1）

1	生産行程についての検査に関すること
2	格付の表示に関すること
3	格付後の荷口の出荷又は処分に関すること ①有機 J A S マークを貼付した商品の出荷までの保管方法 ②出荷前までに有機でなくなった場合の商品の対処方法
4	出荷後に有機農産物・有機飼料の日本農林規格に不適合であることが明らかとなった荷口への対応に関すること
5	格付に係る記録の作成及び保存に関すること

格 付 規 程（その2）

6	格付の実施状況についての認証機関による確認等の業務の実施に関し必要なこと ① 格付担当者は次の対応をする（□にレ点を記入） ☐ 毎年 月 末までに、前年度（4月～3月）の格付実績を報告する ☐ 認証機関から格付に関する問い合わせがあったら対応する
7	名称表示の確認に関すること
8	その他

この様式を格付規程とする場合は、下記の管理をしてください。

附則 1)	この規程は、	年	月	日から施行する。
附則 2)		年	月	日一部改訂。

認証申請受理確認チェックシート

認証申請を受理するにあたり確認が必要な事項です。

以下の設問にお答えください。（該当する方の□に $\surd$ 点をつけ、必要事項を記入してください。）

1. 認証の履歴	
過去に有機 J A S の認証を取得したことがありますか。 「はい」にチェックした場合は、下記のカッコ内にご記入ください。 (認証機関名：) (認証取得日：)	☐ はい ☐ いいえ
2. 違反等の履歴	
格付表示の除去若しくは抹消の命令に違反し、又は報告の求めを拒否し、若しくは虚偽の報告をし、若しくは立入検査を拒否し、妨害し、若しくは忌避したことにより、罰金以上の件に処せられたことがありますか。 「はい」にチェックした場合は、下記のカッコ内にご記入ください。 (違反の内容：) (執行日： 年 月 日) ※執行が終わってから1年以上経過していること。	☐ はい ☐ いいえ
当会又は他の機関から認証の取消しを受けたことがありますか。 「はい」にチェックした場合は、下記のカッコ内にご記入ください。 (取消しの理由：) (取消し年月日： 年 月 日) ※取消しに日から終わってから1年以上経過していること。	☐ はい ☐ いいえ
認証の取消しの日前30日以内にその取消しに係る認証生産行程管理者等の業務を行う役員でしたか。 「はい」にチェックした場合は、下記のカッコ内にご記入ください。 (取消しの理由：) (取消し年月日： 年 月 日) ※取消しに日から終わってから1年以上経過していること。	☐ はい ☐ いいえ
3. その他	
当会の規定に従っていただけますか。	☐ はい ☐ いいえ
認証を自ら廃止したことがありますか。 「はい」にチェックした場合は、下記のカッコ内にご記入ください。 (廃止の理由：) (廃止年月日： 年 月 日)	☐ はい ☐ いいえ
格付業務及び J A S マーク貼付品の出荷の停止処分を受けたことがありますか。 「はい」にチェックした場合は、下記のカッコ内にご記入ください。 (処分の理由：) (処分を受けた年月日： 年 月 日)	☐ はい ☐ いいえ
内部規程及び格付規程を作成し、内容について把握できていますか。	☐ はい ☐ いいえ
疑問点や質問事項がある場合は、お書きください。	